

2022年10月17日

南アフリカ科学技術使節団、エヌ・イー ケムキャット沼津事業所を訪問 カーボンニュートラル実現を支える貴金属触媒技術を視察

2022年10月6日（木）に、南アフリカ共和国科学技術イノベーション省事務次官など政府関係者6名による使節団および沼津工業高等専門学校やJST・JICA関係者など計11名が、エヌ・イー ケムキャット株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：柳田祭）沼津事業所を訪問し、技術見学を行いました。



本訪問は、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）研究課題として昨年採択された日本と南アフリカの共同研究-「再生可能エネルギー水素を用いた新しいアンモニア合成システムの研究開発」の研究代表機関である沼津工業高等専門学校視察のため、同使節団が沼津市を訪れた際に、貴金属触媒の最先端技術見学と国際交流を目的として実現しました。



南アフリカ共和国科学技術イノベーション省の Phil Majwara 氏らは、エヌ・イー ケムキャットの主要事業の一つである排ガス浄化触媒の先進技術開発を行う研究施設や、プロセス触媒の製造現場などを視察し、貴金属回収精製事業などについて説明を受けました。

特に、南アフリカ共和国では同省が2022年2月に水素社会ロードマップを発表するなど、カーボンニュートラル実現に向け取り組みを強化しており、説明が新たなエネルギー・バリューチェーン構築に向けた触媒の活用にあたり、当社保有技術や、新技術の実用化等について、活発な質疑応答が行われました。使節団からは、南アフリカ国内におけるNOxをはじめとした排出ガス削減に向けた現況と課題が示され、課題解決に向けた当社技術の適用について、大きな期待が寄せられました。

(参考：沼津工業高等専門学校における研究について)

国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)

研究領域「カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に関する研究」

研究課題名「再生可能エネルギー水素を用いた新しいアンモニア合成システムの研究開発」

採択年度：2021年度 /研究期間：5年

共同研究国：南アフリカ共和国

研究代表者：秋鹿研一教授（東京工業大学名誉教授）

■エヌ・イー ケムキャット株式会社について

エヌ・イー ケムキャット株式会社は、プロセス触媒・自動車排ガス浄化触媒（三元触媒・ディーゼル自動車触媒等）・燃料電池電極触媒等の開発・製造・販売と貴金属の回収精製を行っています。

本社：〒105-5127 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービルディング南館 27階

沼津事業所：〒410-0314 静岡県沼津市一本松 678

つくば事業所：〒306-0608 茨城県坂東市幸神平 25番3号

■本リリースに関するお問合せ

エヌ・イー ケムキャット株式会社 広報担当

E-mail: info-pr@ne-chemcat.co.jp

以上